

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	湖明館通りと仲間たちで【学ぶ・食べる・お買い物】活性化事業		
事業主体 (連絡先)	湖明館通り こめ女会 会長 井上ふみ子		
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,751,540	円 (うち支援金: 1,397,000	円)

事業内容

- ① 匠の技講座では、商店街の店舗を利用し、20の講座を開催。商店街に人々を足を運んでいただくために、買い物、店舗の利用も含めたスタンプラリー形式を取り入れた。
- ② 高校生とのコラボレーション
諏訪実業高校の学生に季節の飾りつけを依頼し、商店街を彩ってもらった。(七夕、ハローウィン、X'mas)
- ③ ホームページの拡充
新規店舗を開拓し、ホームページの仲間を増やした。グーグルマップを埋め込み SNS との連動、HPを見やすくした。メルマガ、公式 LINE への誘導



【匠の技講座焼き鳥の串うち】

【目標・ねらい】

- ① 駅周辺の商店街の活性化
- ② 空き店舗の発信・活用・招致
- ③ 学生とのコラボレーション
- ④ HP の仲間の拡充

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①匠の技講座によりプロの仕事を知っていただいた。例えば、焼き鳥の串うちはやってみるととても手がかかり、いただくときの気持ちが変わったなど、感想をいただいた。夏休みで子供の参加も多く、当初の参加者目標数は150人であったが、237名と60%増となったが、スタンプラリーの金券交換者は16人、条件がハードルが高すぎたという次回改善点も明確になった。
- ②季節ごと、蔦稲荷神社を中心に実業生に飾っていただいたが同時に七夕の笹、クリスマスなど、各店舗も彩ることができた。
- ③新規店舗が3店舗加わって仲間が増えた。そのうち2店は山梨と東京から移転し仲間に加わった店舗であった。

※自己評価【A】

【理由】

- ① 匠の技講座を通し普段利用したことのないお客様が足を運んでいただいた。
- ② 商店街を学生と協力して賑やかに季節で彩れた
- ③ 新規店舗が3店舗加わることができた。
(内2店舗は県外から移転新規開店)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○引き続き匠の技講座に、興味を持っていただけるような内容の講座を開催するとともに、更に、我が街の良さを知っていただくために、次年度は大昔調査会とコラボして、街歩きイベントを組み込んでいく。

○また諏訪実業生とは、匠の技の内容、空き店舗の活用も含めて、早い時期から打ち合わせをしていき、授業の一つとして活性化を共に考えていってもらう。高校生目線より「若者に選ばれる街づくり」を目指していきたい。

○空き店舗情報を充実させていくために、不動産屋も巻き込んで情報の集約を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある